

INTÉRIEURS IMPRESSIONNISTES

intimité, décoration, modernité

オルセー美術館所蔵

印象派 室内をめぐる物語

オルセー美術館所蔵 印象派 — 室内をめぐる物語 —

会場：国立西洋美術館

会期：2025年10月25日[土]→2026年2月15日[日]

9:30 ~ 17:30 [金・土曜日は 20:00 まで] ※入館は開館 30 分前まで

休館日：月曜日、11月4日[火]、11月25日[火]、12月28日[日]—2026年

1月1日[木・祝]、1月13日[火]（ただし、11月3日[月・祝]、11月24日[月・休]、1月12日[月・祝]、2月9日[月]は開館）

主催：国立西洋美術館、オルセー美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網

執筆・編集：秋田美緒（国立西洋美術館） デザイン：大岡寛典事務所
制作・発行：国立西洋美術館 ©2025 国立西洋美術館

Junior Passport

ジュニア・
パスポート

このガイドを手がかりに
てんらんかい
展覧会を楽しみましょう

本紙は小学校高学年～中学生のみなさんの鑑賞を想定して作成しました。
低学年のみなさんは保護者の方も一緒にご覧ください。

展覧会のなかでは…

- 👉 展示してあるものにさわらない
- 🚶 ぶつからないように走らない
- 🗣️ 多くの人がいるのでさわがない
- ✍️ メモするときはえんぴつで

名前

日付



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

オルセー美術館？

2026 年に開館 40 周年をむかえるパリ(フランス)にある美術館で、世界中から年に約 400 万人も訪れています。建物は、1900 年に建てられた駅を利用しています。革命や戦争などで大きく揺れた時代（1848～1914 年の間）に生まれた西洋美術作品を中心に 15 万以上持っており、そのなかに印象派と呼ばれる画家たちの絵も含まれます。



© patrice schmidt

M
O

Musée d'Orsay

印象派？

1874 年に自分たちで行いはじめた展覧会をきっかけに知られるようになった画家たちのことで、発展していく街の様子や自然の風景、季節や時間で変化していく光や空気が感じられるような絵が特徴です。当時は「印象（ぱっと見た感じ）しか描かれていない」と受けとられたこともありましたが、明るい色づかいや外で描くというめずらしい挑戦が評価されていきました。

この展覧会は…

外の景色や光の様子を描いたことで知られている印象派の画家たちが「室内（建物や部屋のなか）をどうとらえていたのか」を紹介する展覧会です。家のなかで思いおもいに過ごす人々を描いた絵、そして家に飾るために注文された絵など、約 100 点が見られます。

どんな部屋？

ここは画家が絵を描くための部屋（アトリエ）。
立てかけられた絵を見ながら話し合ったり、ひとりでピアノをひいたり、階段の上から下にいる人に声をかけたり…仲間たちと気がねなく過ごす場所であったことがわかります。

フレデリック・バジール《バジールのアトリエ（ラ・コンダミンヌ通り）》
1870年 油彩／カンヴァス 98×128cm オルセー美術館、パリ
© GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Gabriel de Carvalho / distributed by AMF



どんな人たち？ もう少し登場人物にクローズアップした作品も見てみましょう。

真っ黒の服を着てちょっと厳しい顔のお母さん、その前でこちらをまっすぐ見る姉、そっぽを向く妹、居心地悪そうなお父さん…何かお話をしているといった様子でもなく、どこかよそよそしい雰囲気です。

一方で、ピアノをひく2人は、姉妹か友達か、仲がよさそうです。楽譜を見ながら身をよせあっている様子が、明るくふんわりとした色合いで描かれています。



エドガー・ドガ《家族の肖像（ベレリ家）》
1858-1869年 油彩／カンヴァス 201×249.5cm オルセー美術館、パリ
© photo : C2RMF / Thomas Clot



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《ピアノを弾く少女たち》
1892年 油彩／カンヴァス 116×90cm オルセー美術館、パリ
© GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

それから、どんな絵を飾る？

飾る場所が先に決まっていて、そこに合わせてつくられた作品もあります。
この2枚の絵は、同じ家に飾るために描かれました。庭にいる七面鳥、花壇、子ども…まさにこの絵を注文した人の家で、すぐに出会える風景でした。



(左) クロード・モネ《七面鳥》1877年 油彩／カンヴァス 174×172.5cm オルセー美術館、パリ
© GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

(右) エドゥアール・マネ《花の中の子ども（ジャック・オシュデ）》1876年 油彩／カンヴァス 60×97cm 国立西洋美術館